



写

中運交企第 4 号
平成30年 4月27日

長久手市地域公共交通会議 会長 殿

中 部 運 輸 局 長



地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果の通知について

地域公共交通確保維持改善事業実施要領に基づき実施した二次評価等の結果を別添
のとおり通知します。なお、評価結果については、各協議会等において積極的に公表さ
れたい。

地域内ライダーシステム事後評価要約版(29年度)

支局	No.	自治体・協議会名		二次評価
		事業概要	自己評価	
		長久手市地域公共交通会議		
愛知	1	N-バス、中央循環線、三ヶ峯線		
		<p>N-バス 利用者数は対前年度比を上回り、目標を達成している。 平成23年4月の路線見直し以降、増加傾向で推移している。</p> <p>【利用者数の目標：対前年度比増加】 平成28年度：655人/日 平成29年度：697人/日</p> <p>中央循環線右回り(名鉄バス) 平成28年度：103人/日 平成29年度：126人/日</p> <p>中央循環線左回り(名鉄バス) 平成28年度：106人/日 平成29年度：120人/日</p> <p>三ヶ峯線(名鉄バス) 平成28年度：86人/日 平成29年度：87人/日</p>		<p>「公共交通応援隊」によるN-バス応援ソングの作成やワークショップの開催など、市民主体の利用促進活動を行うとともに、市内すべての公共交通を網羅したマップを作成し利用促進策を講じていることについて評価します。</p> <p>引き続き、平成28年12月、29年10月に次々にオープンした大型店舗の影響でN-バスを含めたバスの遅延が発生していることを踏まえ、関係者と連携した上で、特に土日の渋滞対策を講じるとともに、民間バス事業者と連携して長久手古戦場駅と愛知医科大学病院を乗り継ぎ拠点として南北に広域幹線軸が構築されたことを踏まえつつ、尾三地区において関係市町と連携した上で、広域的な公共交通ネットワークを構築することを期待します。</p>

調査事業(計画推進事業) 事業評価要約版(29年度)

支局 No.	自治体・協議会名 事業概要 自己評価	二次評価
愛知	長久手市地域公共交通会議 ○公共交通マップの作成 ○公共交通利用実態調査 ・公共交通マップは、行政界を超えた移動や交通結節点に重点を置くなど配慮して作成。主要公共施設に配布するとともに、広報紙に折り込み全戸回覧を行うことにより周知を図った。 ・市民アンケート調査は4,000部の郵送配布を行い、回収率はH25実施時の35.4%から今回は50.1%に大きく向上した。この調査により、市民の公共交通の必要性に関する考えを把握することができた。	分かりやすく利用しやすい公共交通マップを作成したこと、市民アンケートを高い回収率で行ったことを評価します。 今後はさらに地域を主体とした利用促進策を進めていくとともに、アンケートで得られた結果を基に持続可能な公共交通ネットワークの構築を期待します。

A 委員	B 委員	C 委員	運輸局	
<p>長久手市地域公共会議 (フイーター・計画推進)</p>	<p>◆イオンモール来店時のインセンティブ付与については、地域公共交通会議で議論されたのか。 → (市) 公共交通会議の中では、渋滞対策と公共交通利用促進について、交通事業者と協議した。 ◆様々なアンケート調査を実施しており、昨年9月に市民アンケート調査を実施しているが、中部様式に結果が記載されていない。分析については来年度の予定というところか。 ◆アンケート調査をどのような趣旨で実施したのか分りにくい。アンケートで市民の意向を把握することは大切であるが、どのように施策に反映されるかというレスポンスも大切である。 → (市) 今回のアンケート調査については、平成25年度の結果の比較を趣旨として実施した。特に、尾三地区について、南北軸の需要を把握する狙いがある。現在は単純集計の段階のため、本様式には結果を記載していない。</p>	<p>◆バスについては長く運行しているため、着実に改善していると感じる。一方、愛知医科大学病院線についてはどこにも記載されていないが、興味がないという理解でよいのか。 → (市) 愛知医科大学ではバスターミナルを整備されたことから、民間の新規路線が尾張旭市からできた。今後は大学がバスの役割を担うことが考えられるため、公共交通ネットワークの見直しも考えている。 → (B) ネットワークの見直しについては、大きな話であるが、その点については全く様式に記載されていない。フィーダー系統は愛知医科大学病院線に接続しているため補助を受けられている。また、日進中央線についても乗り入れられているため注視して欲しい。平成31年度の計画策定ではどのような方向性を考えているのか。 → (市) 交通結節点として、愛知医科大学、古戦場駅のバスターミナルが整備完了しているため、それらを活用した広域的なネットワークの形成について、計画したいと考えている。 → (B) 広域的な視点のほか、リニモ、名鉄バス、Nバスがあるが、名鉄バスだけがずっと別体系となっているため、バスターミナルの整備を機会に愛知医科大学で結節点することはできないか。このままでは名鉄バスが衰退するおそれがある。</p>	<p>◆イオン開業に伴う渋滞対策として、パーク・アランド・ライドや、インセンティブの付与とあるが、これはどのような内容か。効果があった取組みについては、他地域にも展開できるため情報の共有ができるとよい。 → (市) インセンティブ付与については、商業事業者と交通事業者で連携し、1日乗車券(800円)やICカードを利用して来店した人に商品券や割引券と交換できるようにしてもっている。 ◆市内公共交通マップについて、1回目は一生懸命に作成するが、続かないことも多いためダイヤ変更時などには改訂版を継続的に作成できるようにして欲しい。</p>	<p>◆前回の第三者評価委員会の指摘を踏まえ、広域的な取組みもなされている点はよい。 ◆来年度に網形成計画を見直すことについても記載して欲しい。 ◆日進市の計画との整合性も図った計画として欲しい。 → (市) 網形成計画の策定に向け、平成29年度にアンケート調査や庁内検討会を実施している。来年度は公共交通会議にて議論し、近隣市とも整合を図りながら計画策定に取組みたい。</p>